

強者の戦略

受験生のみなさん、こんにちは。研伸館で政治・経済を担当している松木です。前回の「倫理、政治・経済」の問題はいかがでしたか。まだ、二次試験対策をしていないでしょうかから、完璧な答案を作成することよりも、書けることを書くことから始めましょう。これを続けていけば、理想とする答案ができていきます。今は焦らずに、一步一步、着実に進めて行きましょう。

さて、今年の「ビジネス基礎」の問題ですが、第1問で名目国内総生産(GDP)と総広告費の推移、第2問で雇用の安定や労働者の福利など企業の責任としての取り組み、第3問では地方経済の復興が出題されました。第1問のデータの特徴は、名目国内総生産と総広告費が連動していることに気づけば簡単でしょう。また、企業と消費者の関係の変化は、データの特徴をもとに、自分の考えを述べる問題で、テレビからインターネット広告費に移行していることに注目すればよいでしょう。第2問の雇用の安定としては、ワークシェアリングによって労働時間を短縮して、その分新規雇用を行うことが挙げられます。また、労働者の福利は有給休暇や育児・介護休業の取得など、男性労働者がなかなか取れていない現状を変えていくことを挙げればよいと思います。第3問の地方経済の復興は、地方創生との関係で出題されたと思われます。現在は、これまでのような道路整備などの公共事業ではなく、その地方や地域の特色を活かした経済に力を入れることが行われています。和歌山県の鉄道会社の駅長を猫が務め、そのことが全国的に話題になり、多くの観光客が乗車して赤字が黒字に変わったという話は聞いたことがあるのではないのでしょうか。このように、何か話題をつくることで、観光客が訪れ、それで経済が潤うことを述べればよいと思います。多くの人が認識している反面、いざ書くとなれば難しい内容です。

前置きが長くなりましたが、予想問題を出題します。今回は「ビジネス基礎」編です。

予想問題

問 現在ではインターネットで商品を購入するだけでなく、銀行口座への振り込みなど、インターネットの利便性が高まっている。その中で、インターネットのセキュリティーをどのように図るべきか、あなたの考えを述べなさい。(400字以内)